

2019年度第2回 明石市ユニバーサルデザインのまちづくり協議会

議事概要

日時：2019年（令和元年）8月27日（火）14:30～16:30

場所：明石市役所 議会棟 大会議室

1. 開会
2. 議事(1) 2019年度第1回協議会における主な意見と回答<資料①>
3. 議事(2) まちあるき（林崎松江海岸駅周辺地区）の報告<資料②>
4. 議事(3) 「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画（仮称）」（素案）<資料③>

① 「本計画の基本理念と特徴」について

委員)

7頁。本計画の特徴の「(1)利用者視点に立ったユーザビリティの向上」と「(2)当事者参画による計画の推進」の内容が、基本方針「3.2 安心安全なまちを支える都市整備」の中に含まれた形になっている。市民・当事者意見の反映はソフト施策にも係るため、独立して記載した方が良いのではないか。同じく「(6)地域との連携」と「(7)計画の継続改善と見直し」は、基本方針の中に別途この項目を立てて、詳しく記載した方が分かりやすい。

事務局)

本協議会を開催することによって、当事者の皆様のご意見を取り入れながら計画の策定に取り組むつもりである。地域との連携・計画の継続改善については、工夫をさせていただく。

委員)

計画の基本理念は、市の全体的なまちづくりを進めるという明確な意思があらわれており、非常に上手くまとまっていると思う。計画の中でハードとソフトのイメージを、自転車と運転者の図で例えている。自転車はいくらでも良くできる。ただ、どれだけ良い自転車でも、誰もこがなければ走らない。こぎ続けなければ自転車は倒れてしまう。自転車をこぎ続けるためには、運転者の心のバリアフリーが重要となる。この部分はとても抽象的になるので表現しにくいと思うが、心のバリアフリーを具体的な政策の中で

広げていくことが重要ではないか。

会長)

バリアフリーを推進していくのは、市民である。これを継続していくことが大事である。

委員（代理）

12 頁。「④ユニバーサルデザインに配慮した車両の導入」の UD タクシーについて、杖をついたり、股関節や膝の障害で膝が曲げにくい方は、セダン型の車両は乗り降りするのが大変であり、より安価で乗り降りが楽な車両の方が良いと聞いている。

委員)

精神面でやる気がある人となない人との温度差がある。外出することを諦めたり、やる気が出ないとおっしゃる方が見受けられる。自転車の例で言うと、いかにこぎ続けられるかという前に、いかに自転車に乗ってくれるかということである。どうしたらそのような方たちがバリアフリー環境の整ったまちに外出できるのか、アドバイスをお願いしたい。

事務局)

単純な移動だけでなく、音符マークで示しているとおりに移動の楽しみや動機付けとしてユニバーサルツーリズムを位置付けている。社会参加の第一歩を踏み出すきっかけにユニバーサルツーリズムがなれば良いと思っている。日常生活で一歩を踏み出したいと思える機会を作り出すことも、ソフト施策として必要であると認識している。

委員)

17 頁。ヘルプカードだけでなく、ヘルプマークの普及促進も追加できないか。

事務局)

ヘルプカードは市が発行しており、ヘルプマークは県が作成している関係もあり、こういう書き方になっている。担当部局と調整のうえ、記載する方向で検討する。

会長)

知的・精神・発達障害の多くの方々には、複雑なルールや複雑な判断が求められたりする場面では、健常者の方が考える以上に躊躇してしまう。わかりやすいルールや、シンプルなデザインが必要であり、それが知的・精神・発達障害の方々の社会参加を促進することにつながるのではないか。

委員)

ユニバーサルツーリズムに関連した話になるが、「出かけることができる明石、出かけたくなるまち明石」というキャッチフレーズを聞く。確かに、明石市は出かけたいまちであるが、出かけようとは思わないまちでもある。色々と楽しい情報や良い情報を入手して出かけてみたものの、現地で楽しむことができない場合がある。視覚障害者がインフォメーション等で目的地を伝え、その場所に誘導していただけるような施策を充実させてもらいたい。

委員)

情報提供に関連する話になるが、本計画を推進する中で出てきた良い知見や事例を、この協議会だけでなく市民に公開してはどうか。交通、建築物、福祉、医療等、それぞれの分野で個々に良い取組は行っているが、立場や事業主体が異なってしまうと見えてこない部分も出てくる。例えば、ユニバーサル点検をした結果を情報公開することは出来ないか。もう一つは、それらの情報を蓄積していくこと。市民の方のアイデアなども蓄積し、携帯やパソコンで見られるなど、情報公開ができることは進めていきながらスパイラルアップしてはどうか。

## ② 「全市的なユニバーサルデザインのまちづくりの基本方針」について

委員)

東二見駅について。歩道橋の南側にエレベーターが設置されているが、歩道橋の北側には設置されていない。これから設置する予定はあるのか。

事務局)

歩道橋の北側はスペース上の制約がある関係で、現時点ではエレベーターの設置が出来ていない。ご質問された点は、課題であると認識している。

委員)

移動等円滑化促進地区の西新町駅周辺地区について。王子回生病院の200mほど北にある県立のがんセンターへ西新町駅から移動される方が多い。県立のがんセンターは対象にならないのか。

事務局)

平成14年に策定した基本構想の策定段階で、県立のがんセンターを対象にするか議論になった際、駅からは自動車やバスでの移動が主であるということで、県立のがんセンターを含めなかった経緯がある。今回もその考えを踏襲しながら、徒歩での移動圏は500m

以内ということで設定している。

委員)

実際、西新町駅からがんセンターに移動される方は多い。西新町駅前は通りがよくなっており、駅から真っ直ぐ北に行ったところが県立のがんセンターなので、考慮したほうが良いのではないかな。

会長)

半径 500m の徒歩圏外であっても、利用者の多い病院は送迎等の移動サービスがあるのかを含め、チェックが必要。該当するかどうかは、別途検討して頂きたい。

委員)

10 頁。「3.2 安全・安心なまちを支える都市整備」に記載されているハード面の取組だけではなく、同行支援など当事者の移動支援に関する考え方を整理して追加しても良いのではないかな。

21 頁。「災害時・緊急時に対応したユニバーサルデザインのまちづくり」の(3)に避難所のバリアフリー化の推進が記載されている。ここに当事者団体の要望である「福祉支援員の配置」に関する記載を検討いただきたい。

23 頁。移動等円滑化促進地区の位置図に赤丸と黒丸があるのだが、その凡例があった方が理解しやすいと思う。

### ③ 「移動等円滑化促進地区のまちづくりに関する方針」について

委員)

改正バリアフリー法は建築物と公共交通が対象となっており、26 頁以降は移動のことは整理されているが、目的地となる建築物や、建築物と移動経路の接続部分についての記載が充分ではない。建築物や建築物の利用にあたってのソフト対応も重要だと思うので、その辺りの情報も追加したほうが良い。

事務局)

どのように記載するか、検討を進めていく。

委員)

22 頁。「本計画における促進地区の考え方」の④について。地域のまちづくり協議会では、福祉やまちづくりについて活発な議論があり、独自にバリアフリールートを設定しているところもある。バリアフリー法の条件には合わないかもしれないが、実際に地域

の方が位置付けている経路がいくつかあるので、そういった取組も移動円滑化促進地区の対象に広げてはどうか。まちづくり協議会や地域の市民活動団体の方から出ている経路や、地区の提案を計画に含みつつ、フィードバックしていく仕組みがあれば良い。

事務局)

地域の取組を市域全体に広げていくことは、重要だと考えている。8頁の計画の特徴にも地域との連携という記載をしているが、ご意見を踏まえてどういった取組が出来るのか、どういった内容を計画に取り入れられるか、検討していきたい。

委員)

子ども会の代表として参加しているが、子ども会の活動も少なくなっている傾向にあり、地域のコミュニティが無くなっていっていると感じる。お母さん方も仕事が忙しいことも関係して、なかなか参加してくれない。地域のことを考えていただきたい。

委員)

高齢化の進行に伴い、家に閉じこもる高齢者も多い。何とか外に出て明石の駅前や近辺に出てもらいたいと思っている。

会長)

「(仮称)あかしインクルーシブ条例」の検討中の理念の最も大きな特徴は、「誰も取り残されることなく、誰も排除されることなく」ということである。出てみたけれども次に出かける気にならないというようなまちではなく、良いまちづくりをすることで、引きこもることがない社会・まちにしたいと思う。

委員)

私は耳が聞こえないが、明石のまちのイベントに参加時に案内や情報提供の方法に差がある。参加しても内容がわからないことがあり、イベントごとに手話通訳があったら良いと思う。

また、地域のコミュニティセンターに筆談ボードがあれば、手話通訳者がいなくても、やり取りが出来るので、各コミュニティセンターに置いていただければありがたい。

委員)

一昨年度より駅前の商業施設であるパピオス明石、ピオレ明石、アスパア明石の3つの商業施設で、トイレや授乳施設等を示したユニバーサルマップを作成し、設置をしている。

また、市の協力も得ながら、今年の秋にはユニバーサルマナー研修会を3つの施設の

店長とインフォメーションを担当する職員などを対象に実施する予定である。

パピオス明石には市民広場があり、そこに大型のデジタルサイネージをこの秋に設置する予定である。昨年の地震発生時も、駅前に相当な数の人が滞留した。パピオス明石は3階に飲食施設もあるので、そういう施設を利用していただきながら、自宅避難困難者への対応をできればと思っている。

#### ④ 総括

副会長)

3点お願いしたい。1点目。会議のユニバーサルデザイン化として、会議資料に配慮が必要である。資料を説明する際は、点字資料のページも合わせて説明いただきたい。

2点目。誰もが出かけたくなるまちを目指すことが明石市の基本理念だが、本当に出かけたくなるまち、実際に出かけて楽しかったと言えるまちにしていきたい。これを具体化するためには、ハード面のレベルアップと、情報提供などのソフト面も含めた取組がより一層重要になると改めて思った。

3点目。今日は特に基本理念や基本方針を重点的にご議論いただいたが、明石市のこれまでの取組の積み重ねを感じる充実した内容であった。この議論を受けて、次回以降の協議会で基本構想にどう具体化されていくのかを期待している。是非、委員の皆様から活発な意見を出していただきたい。その積み重ねが計画の基本理念を具体化した基本方針や基本構想に繋がっていく。委員の皆様と共に一緒に力を合わせて、全国で一番のマスタープラン・基本構想だと言われるまちづくりに向けて頑張っていきたい。

5. 議事 (4) 今後のスケジュール (案) ~資料④・資料⑤~

6. 閉会

以 上